

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	発育性股関節形成不全のエコー診断を補助する AI 支援技術の開発
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
小千谷市(2016 年以降)、魚沼市(2024 年以降) 乳児股関節エコー検診の受診者	
② 概要	
乳児の発育性股関節形成不全(Development Dysplasia of the Hip: DDH) は稀でない先天的形成不全で、早期発見・早期治療により手術等の侵襲的治療を防ぐことができるため健診が義務化されています。しかし運動器が専門でない保健師や小児科医による評価が一般的であることから、発見が遅れてしまう患者さんの増加傾向が報告されています。超音波検査（以下、エコー）でも DDH は診断可能で、非侵襲で簡便ですが、技術難度が高く一般に普及されていません。この問題を解決するために、画像技術開発の研究を行い、エコー検診の一般化、DDH の診断遅延を無くすことを目指します。	
③ 申請番号	2025-0022
⑤研究の目的・意義	発育性股関節形成不全という赤ちゃんの股関節の病気の早期発見のためのエコーによる画像技術開発を行います
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	健診で撮影した赤ちゃんの画像、動画を AI 解析、コンピュータ上での三次元モデル作成に使用します。撮影で記録されるデータは白黒の股関節のエコー画像と動画のみで、個人をそこから特定することは不可能です。
⑧利用または提供する情報の項目	利用されるデータにはエコーの画像・動画情報です
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 フレイル予防のための運動器科学講座 古賀寛 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 村上玲子 整形外科学分野 谷藤理、望月友晴 保健学科 近藤 世範 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科 森清 友亮
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学大学院医歯学総合研究科フレイル予防のための運動器科学講座 古賀寛

⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科フレイル予防のための運動器科学講座 氏名：古賀寛 Tel：025-227-2272 E-mail：hiroshi-koga@med.niigata-u.ac.jp
----------	---